

# 一般社団法人日本発達心理学会 社会貢献委員会規程

2022年9月4日 制定

## (目的)

**第1条** この規程は、「一般社団法人日本発達心理学会定款」第35条第17項に基づき、社会貢献委員会（以下「委員会」という）に関する必要な事項を定めることを目的とする。

## (組織)

**第2条** 委員会は、社会貢献委員会委員長（以下、「委員長」という）1名、社会貢献委員会副委員長（以下、「副委員長」という）1名、若干名の委員（以下、「委員」という）、及び委員会担当理事（以下、「担当理事」という）により構成する。

2 委員長、副委員長、委員は、委員会からの推薦候補者リストを参考に、理事会が選出、承認し、代表理事が委嘱する。

3 委員長、副委員長の任期は1会計年度とし、再任を妨げない。また委員長、副委員長の任期は連続2期までとする。

4 委員の任期は2会計年度とし、再任を妨げない。

## (職務)

**第3条** 委員長は、委員会の業務を統括する。副委員長は、委員長の補佐をし、委員長が不在の際に委員長の代理を務める。

2 委員は、第4条で定める業務内容を担当する。

3 委員長及び担当理事は、委員会の運営に関し適宜理事会に報告する。

## (業務内容)

**第4条** 委員会は、委員会に関する次の事項を審議し、処理する。

- (1) 国内外の発達心理学に関連する社会貢献事業についての情報交換
- (2) 年次大会での社会貢献事業
- (3) ホームページ・電子メール等電磁的方法における社会貢献事業
- (4) 社会的課題の発見・解決や政策提言に関わる社会貢献事業
- (5) 社会貢献に資する研究の奨励事業
- (6) その他、必要な事業に関する事

## (会議の開催)

**第5条** 委員会は、委員長がこれを開催する。

2 電子メール等、電磁的方法で審議を行うことができる。

## (議事)

**第6条** 委員会は、過半数の委員の参加がなければならない。

2 委員会は、参加委員の過半数の賛成で議決する。

## (改定)

**第7条** この規程の改定は、社員総会で承認を得るものとする。